



TITLE:

表紙・投稿規定・編集後記・目次  
・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・投稿規定・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 1974, 22(3):  
336-337

ISSUE DATE:

1974-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/88793>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和49年6月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第22巻 第3号

vol. 22 no. 3

# 物性研究

1974/6



1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、また掲載はを拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方はProgress, Journalの投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受けてから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、また掲載はを拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方はProgress, Journalの投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受けてから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

## 編 集 後 記

3年半程、物性研究の編集長としてお世話してきましたが、この度川畑氏にバトン・タッチすることになりました。物性研究誌は先に10周年記念号を出したばかりだから発刊以来の $\frac{1}{3}$ の期間を本誌と共にすごしたわけであります。その間財政難や人手不足の問題等にしょっちゅう追いまわされてきた感じがします。このうち財政難の問題はまだ解決されておらず、今、編集長の役を降りることでホットすると共に、次期編集長に多大な御苦勞をおかけすることになるのだと思っております。

思い出しますと、編集委員会は割合と無遠慮に好きなことをやってきたようです。境界領域特集等の企画のときには無料の依頼原稿をたくさん集めました。愉快的ことに、早川さんに原稿をお願いしたときは、物性研究は無料だから書いてあげようといわれた。成程、はした金の原稿料をもらって注文に応じて書くより、好きなように書いて、研究者に話しかけることの方が気が楽だということでしょうか。又、講義録等は読者には好評のようですが、講義録作成者にとってはなかなかしんどい仕事です。その報酬が現在では驚く程わずかです。これも作成者が自分の勉強になると思って下さるので、やれていることなのでしょう。各地編集員の方々には、恒常的に「物性研究」につなぎとめているにもかかわらず、お礼はわずか1カ月300円です。このように、この雑誌はさまざまな好意が集まって出来ていることがわかります。つい先日、物性研究の編集部が主催して「生態学の将来」という題で座談会をしました。出席された方々は、非常に広範囲の分野におけるトップクラスの研究者ばかりです。研究者自身が編集員であり編集長であるために、研究者仲間の意識が多分働いて商業誌では真似の出来ない多くの人達をほとんど経費をかけないで集めることが出来るのだという気がします。いずれこの記録は本誌に掲載される予定ですので楽しみにしてお待ち下さい。

ある時、この雑誌の存続・廃止に関する議論が出たことがありましたが、こうしてみると、これ程ユニークな雑誌は他から生れてきそうにないので、続けてほしい気がします。本誌は今後時代の流れに応じてその性格を変えてゆくでしょう。研究会報告やレビュー的なものが多く載せられる傾向にあります。それはそれで、時代の要求なのだから

良いのでしょう。でもやはり、投稿原稿がなくなることはないよう期待します。雑誌と読者の距離は自分の投稿によって接近せられるのだと思うからです。

今後ますますユニークな特集や、すばらしい論文が載ることを祈ります。

(T. K.)

物 性 研 究

第22巻 第3号

1973年6月20日 発行

発行人 川 崎 恭 治  
京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内  
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所  
京都市上京区上長者町室町西入  
発行所 物性研究刊行会  
京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

良いのでしょう。でもやはり、投稿原稿がなくなることはないよう期待します。雑誌と読者の距離は自分の投稿によって接近せられるのだと思うからです。

今後ますますユニークな特集や、すばらしい論文が載ることを祈ります。

(T. K.)

物 性 研 究

第22巻 第3号

1973年6月20日 発行

発行人 川 崎 恭 治  
京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内  
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所  
京都市上京区上長者町室町西入  
発行所 物性研究刊行会  
京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

## Chemical Abstract への収録について

編 集 部

物性研究への投稿論文のうち著者が希望する場合にはその英文抄録が Chemical Abstracts に収録されることになりました。英文抄録の収録を希望される方は投稿時に数行の Abstract をつけて下さい。(なるべく英文の方が良い。)又、氏名の読み方をローマ字で書き添えて下さい。これは 1974 年 6 月号から実施されます。



## 購読規定

### 個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月  
末までになるだけ1年間分会費を御支払い下さい。  
なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、  
1,000円お支払い下さい。

#### 1年間の会費

1st volume	1,680円
2nd volume	1,680円
計	3,360円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分  
ずうでも結構です。)

2. 支払いの際の注意: なるべく振替用紙を御利用のし御納入下  
さい。  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購  
読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合: 当会の原則としては、正当な理由な  
く、2 Vols. 以上の誌代を滞納されば場合には、送本を停止する  
ことになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合: 個人購読中に大学等で一括配布を受け  
る様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」  
の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合: 住所、勤務先の変更等送本先が変わった場  
合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費: 学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払い  
のときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. 3,120円、1冊  
520円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会  
費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる  
時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのをお知  
らせ下さい。  
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴  
校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡: 発行途上ある volume の購読途中  
中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐ  
らいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。



昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和49年6月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第22巻 第3号

物 性 研 究 22-3 (6月号) 目 次

○ $^3\text{He}$ の超流動.....	真木和美.....211
○ 講義ノート.....	
Fermi液体・非等方的超流動体・液体 $^3\text{He}$ の新しい相について、I .....	Anthony J. Leggett.....275
○ 編集後記.....	.....336

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和49年6月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第22巻 第3号

物 性 研 究 22-3 (6月号) 目 次

○ $^3\text{He}$ の超流動.....	真木和美.....211
○ 講義ノート.....	
Fermi液体・非等方的超流動体・液体 $^3\text{He}$ の新しい相について、I .....	Anthony J. Leggett.....275
○ 編集後記.....	.....336